

論文を提出する: 著者のための倫理

何を考えるべきか、なぜ重要なのか

オーサーシップを明確にすること

貢献したすべての人を適切な順序で著者として含め、そして謝辞は最新のものであることを確認。どのジャーナルに提出するか共著者に合意を取り、投稿時には連絡しましょう。

合意があると
出版がより早くなる

オーサーシップに関する問題は、査読と出版を遅らせることがあるため、投稿の決定は全共著者の合意のもと行い、全員が認知しているようにしましょう。

誰が確認するのか?

編集者および査読者は、査読過程の一環として、既出論文との類似点を探します。Taylor & Francisでは、Similarity Checkを用いて、投稿された論文と4000万件以上の既出論文を含むデータベースとの照合を行なっています。

盗用(および自己盗用)を避ける

自分自身の、そして他者の著作物を正しく引用しているか確認しましたか?他者の図や表を転載または改変する場合には、書面による許可も必要です。

データを再確認すること

他の誰かが収集したデータセットを使っていますか?それらを自分の論文で引用するための承諾があるか、確認しましょう。加えて、統計学者がデータ分析を行った場合、忘れずに謝辞に加えましょう。

すべてを含める:
投稿規定を確認しましょう

いくつかのジャーナルでは、論文と一緒に補足データの提出が必要とされます。ジャーナルの投稿規定を確認し、必要なものをすべて含めていることを確認しましょう。

あなたの研究成果に影響を与えたと見られる、利害関係や人間関係は(金銭的か否かを問わず)、常にジャーナルの編集者、査読者、または読者に公表されなければなりません。

利害関係はすべて公表する

すべての財源および資金提供者の情報を必ずカバーレターに明記しましょう。

基準を掲げる

実験や手法を記述していますか?これらを再現する際(論文内で言及された説明、材料、化学式を含める)発生しうる危険に対する警告は確実に述べるようにしましょう。また、関連する基準や行動規範は引用し、参考文献に含めなければなりません。

手続きに従ったことを
示す証拠

人や動物に対する実験は、国の手続きおよび国際的な手続きが設けられています。倫理審査の承認に関するステートメント、試験登録、そして患者からのインフォームドコンセントは、すべて投稿時に必要になります。

一度につきひとつ

論文は、一度につきひとつのジャーナルのみに投稿し、一人の編集者と一組の査読者によって審査されるようにしましょう。投稿先ジャーナルを変更したい場合、いつでも論文を取り下げることができます。